

第3回福井市下水道事業経営戦略 策定審議委員会

令和3年11月4日

福井市企業局
上下水道経営部 経営管理課

1

第3回委員会

【議題】

- 1 留保資金について
- 2 経営戦略の素案について

【その他】

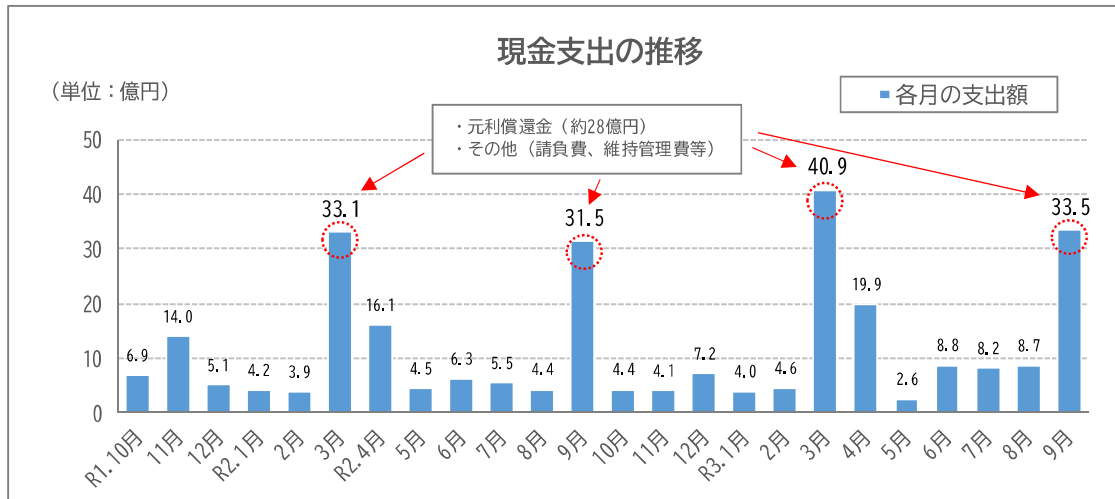
パブリック・コメントについて

2

1 留保資金

(1) 必要な留保資金

- ◇ 9、3月に多額の企業債償還があり、その他の支出（維持管理費等）と合わせると、ひと月の支出額は30億円を上回る
- ◇ 加茂河原ポンプ場等の更新や、災害等により使用料などの収入が見込めない事態を想定し、30億円程度の留保資金は必要



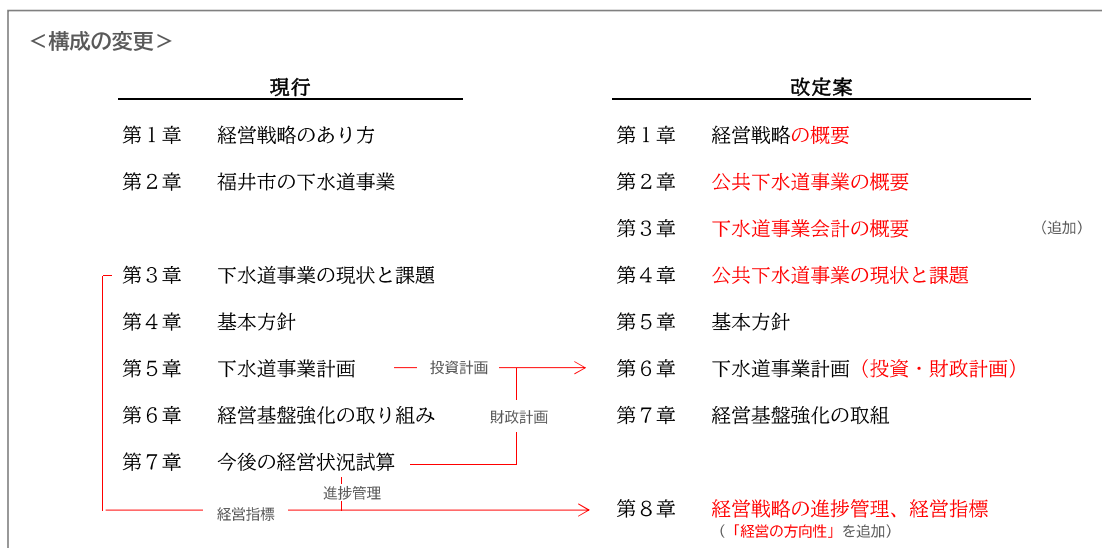
※…必要な留保資金については、今後も継続的に検証

3

2 経営戦略の素案

(1) 構成の変更

- ◇ 第3章「下水道事業会計の概要」を追加
- ◇ これまでの「投資計画」と「財政計画」を合わせて、第6章「下水道事業計画（投資・財政計画）」に一本化
- ◇ 第8章に、「経営の方向性」を追加



4

2 経営戦略の素案

(2) 補足 (①経営指標による分析 素案P.45～54)

◇経営状況の類似団体との比較や、現状と課題の分析に活用

<各指標の推移> ※A・B・Cで評価 (A…問題なし、B…今後の課題、C…改善が必要)

年度	H29	H30	R1	R2
経営の健全性・効率性				
(1) 経常収支比率	B	B	B	A
(2) 企業債残高対事業規模比率	B	B	B	B
(3) 水洗化率	A	A	A	A
(4) 有収率	C	C	C	C
(5) 汚水処理原価	B	A	A	A
(6) 経費回収率	B	A	A	A
老朽化の状況				
(7) 管渠老朽化率	B	C	C	C
(8) 有形固定資産減価償却率	B	C	C	C
全体の評価	B	B	B	B

【経営の状況・効率性】

- (+) 「経常収支比率」「経費回収率」は良好
- (+) 「企業債残高対事業規模比率」は類似団体より低い水準で推移
- (-) 「有収率」は類似団体より悪い状況

【老朽化の状況】

- (-) 「管渠老朽化率」「有形固定資産減価償却率」ともに上昇傾向であり、類似団体と比較しても施設の老朽化が顕著

5

2 経営戦略の素案

(2) 補足 (②経営の方向性 素案P.55)

◇将来にわたって安定した下水道サービスを提供するため、さらなる収支構造の適正化が求められている

◇健全経営のため、使用料体系の検証、費用の低減等の取組を継続

業績目標：経費回収率 100%以上（令和8年度まで）

年度	～	経営戦略期間									
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
使用料体系の検証		検証	改定			検証					検証
修繕・改築事業の最適化	修繕・改築 ストックマネジメント計画		策定	改定					改定		
接続率、収納率の向上	戸別訪問、貸付制度のPR 徴収業務の民間委託										
維持管理費の削減	施設運転管理の民間委託 消化ガス発電		不明水 対策				羽生浄化 センターの廃止 広域化・共同化 計画の策定				
下水道事業の見える化	マンホールカードの配布 上下水道展の開催	広報誌 の発行									

6

パブリック・コメント

◇12月にパブリック・コメントを実施し、市民からの意見を素案に反映

◇令和4年2月に提言書を提出、3月に公表予定

<今後の予定>

日程	内容	主な議題
R3. 11月4日	第3回 経営戦略策定審議委員会	素案、パブリック・コメント
12月	パブリック・コメント	
R4. 1月	第4回 経営戦略策定審議委員会	パブリック・コメントの結果、経営戦略の策定
2月	提言書の提出	
3月	公表	